



# 学校だより No.10

一年末特別号一 2017(平成 29)年 12 月 22 日  
聖ウルスラ学院英智小・中学校

いよいよ今年も残すところ 10 日あまりとなりました。そして明日から冬休み。小・中学校では、この 2 週間でインフルエンザが流行し、学年閉鎖や学級閉鎖が相次ぎました。今年の冬は例年より寒い冬になるとのことですので、体調管理には特に気をつけて過ごしていただきたいと思います。充実した年末年始にするためには、早寝早起き朝ご飯等の生活のリズムを保つことが大切になります。そう。食べ過ぎにも注意ですね(笑)

また、是非ご家庭の中でも役割を持って生活してもらいたいと思います。教職員一同、児童生徒の休み明けの元気な笑顔を楽しみにしております。よいお年をお迎えてください。

## 《 1 月行事予定》

[全体に関わる予定]

◆学校閉鎖期間：12月 24・25 日(日・月) 12月 29 日(金)～1月 3 日(水) 1月 5 日(金)

◇1 月

8 日(月・祝) 冬季休業終了

9 日(火) 始業集会(1st 午前授業 SB12:15・2nd,3rd は通常授業 **お弁当**) SB 通常)

※明泉行きバスの 15 時台は出ません。12:15 に乗るようにお願いします。

10 日(水) 午前授業 SB13:30 **お弁当** (T9 年は高校推薦入試のため休業日)

11 日(木) 全校臨時休業・自宅学習日(中学校課程後期入試**S6 年は到達度テストとして受験**)

12 日(金) 標準学力調査(調査終了後は通常授業)・給食開始

17～23 日(水～火) 校内書き初め展

22 日(月) 短縮(5 校時まで) SB15:30 ※明泉行き全便この時刻発

23 日(火) 通常授業 1st,2nd **お弁当**, 3rd **給食**(放課後課外なし 17:00 完全下校)

24～26 日(水～金) 全校臨時休業(高校入試のため) →4,7 年は宿泊学習

27 日(土) 通常授業(1 校時漢字検定)

31 日(水) ミュージカル鑑賞(電力ホール・1st 午前、2nd,3rd 午後)

◆各種検定：**英検 1 月 20 日(土)午後** **漢検 1 月 27 日(土)** **数検 1 月 27 日(土)午後**

※1 月 27 日はカトリック教会で「聖アンジェラの日」と定められています。

[1st Stage]

19 日(金) 2 年校外学習

23～25 日(火～木) 4 年リーダー宿泊研修

[2nd Stage]

23～25 日(火～木) 7 年リーダー宿泊研修

※17 日はクラブ 20 日(土)委員会

[3rd Stage]

6 日(土) T1 課外 9 日(火) T2 9 年新みやぎ模試 19 日(金)T1 89 年模試

21 日(日) T1 英検(外部会場) 2 月 1 日(木) T1 89 年模試

※2 月 3 日(土)は全学年の授業参観・懇談会があります。(午前)

## 「GLORIA いと高き天においては神に栄光、地においてはみ心にかなう人々に平和」

(ルカによる福音書2章14節)

「分かち合う～SHARE～」

～待降節第1週の放送朝礼でお話をしました～

みなさんは、19世紀フランスの画家ミレーが描いた「落穂拾い」という絵を見たことがありますか。フランスののどかな農村、刈り入れが終わったあとの畑で3人の女の人が腰を曲げながら落穂を拾い集めている絵です。「落穂」とは収穫のときに畑にこぼれ落ちた麦の穂のことで、「落穂拾い」は当時のフランスの農村では珍しくない光景でした。実はこの絵に登場する3人の女性



たちは、この畑の持ち主ではありません。畑どころか家もお金も何一つ財産を持っていない貧しい人でした。どうして貧しい人が他人の畑で落穂を拾っているのでしょうか。このことは旧約聖書の掟に由来します。『畑の持ち主は、収穫のとき、畑の隅々まで刈り取ってはならない。収穫の後、残った落穂はひろい集めてはならない、これらは貧しい人々のために残しておかなければならない』（レビ記19章9節～10節）。畑の落穂はわざと残しておき、食べ物に困っている人がそれを拾って食糧にできるようにしてあげるといいます。貧しい人たちを守る、さりげないやさしさに満ちたこの掟は、昔々神様が人間に与えた掟でした。19世紀のフランスではその掟が大切に受け継がれていたのでしょうか。誰かのために、自分の権利のあるものをそっと差し出す…これが「分かち合う」ということです。

ところが、自分の権利を主張して分かち合うことをしない人がいました。聖書に出てくる徴税人は、まるで機械で稲刈りをするように一粒も残さずに刈り取っていました。自分の物は自分の物。それのどこが悪い。そう信じて生きてきたのです。でもそれが本当ではないと薄々気づいていました。なぜなら、いくら働いても「喜び」がないからです。ただむなしだけ、心はすさんでいきました。そしてようやく気づくのです。「落穂」が、それを拾う人にも、落とす人にも喜びを与えてくれることに。徴税人は自分の心の貧しさを悔やみ、神様にあやまりました。

自分たちさえ良ければいいという考えは現代にもあります。マザーテレサは言いました。「『貧困』は神様が人間に与えたものではありません。貧困は人間が起こしたことです。なぜなら、分かち合わないからです」と。「分かち合う」愛の行為こそが神様のみ心であり、人間に本当の喜びと平和をもたらすのです。

さて、みなさんは待降節のめあてを掲げました。また、来週には献金活動やスプーン一杯のお米運動もあります。どれも、誰かのために自分に権利のあるものをそっと差し出す「落穂」です。ちょっともったいないかなと小さな痛みを感じながら、自分の物や自分の時間、自分の力、自分の心をそっと誰かのために差し出しましょう。みなさんの「落穂」を待っている人が必ずいます。この待降節の間、世界中の人々が深い喜びと平和のうちにクリスマスを迎えられるように祈りましょう。これでお話を終わります。

### 【標準学力調査について】

本校では児童・生徒の学習内容の定着と学力の水準を見きわめるために、全学年について標準学力検査（東京書籍）を毎年実施しています。各学年だいたい11月までの学習内容が出題範囲となります。確実な定着をはかるチャンスとして、冬休み中にこれまでの学習内容を復習するよう、ご家庭でもご指導下さい。

☆実施日 1月12日（金）※前日の臨時休業日も自宅学習日として位置づけています。

宗教掲示板より



わかりにくいかも知れませんが、実は全体がたくさんのお星で作られています。



たくさんのお星が集まって、また大きな星になる。まさにこの宇宙のように、見事にバランスが取れた、秩序整然とした COSMOS を思われますが、これは「ゴシック建築のステンドグラス」をイメージして作ったとのこと。

この作品のとなりには、ユニセフからいただいた【感謝状】も掲示されております。

【感謝】と言えば、今年初めて行った「スプーン一杯の米」運動にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。なんと、全部で 112kg ものお米が集まり、大変驚いております（下の写真の左奥に置かれています。どうぞご確認下さい）。詳細は、年明けにご報告という形でお知らせ致しますが、まずは速報ということで、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、エントランスホールは、子どもたちが飾ったクリスマスツリーと、人形での馬小屋飾り（イタリア語で「プレゼピオ」と言うそうです）でのページェント、そして右後ろには各クラスの待降節の「めあて」で彩られています。

本当に、ほのぼのする一角になっています。



それでは、良いクリスマスと、良いお年をお迎え下さい。

***We Wish You A Merry Christmas and A Happy New Year!!***